

第12回 キャンパスベンチャー

奨励賞

AIと人の協働によるWeb広告クリエイティブ半自動作成システム「Project 牡丹燈籠」



北海道大学大学院
木村 誠

AI（人工知能）など、軽減なども図る。運用型広告の出稿するシステムと呼ばれる技術、かなどを柔軟に決められ、人のオペレーターを組むが、セグメントが増え、合わせてウェブ広告を、は、広告代理店に作成するサービス。きめ、クリエイティブ作成など細かい対応のほか、代理店の負担増となる。一般的に、理店やデザイナーの負担、最適化アルゴリズムで、はウェブ広告の評価指標を得る。多くのコストが発生してしまふ。課題も、価値の入手はシステム。AIに、事業者がとりま、以降、③④を繰り返す。

やユーザーセグメントを網羅的に対応することなども難しい。本システムは①評価指標とセグメント分けはデザイナーや広告代理店、システム事業者が担当。②初期の広告クリエイティブの設計はデザイナーが扱う。③新しいクリエイティブ作成の際にはシステムにまかせつつ、一部修正などは広告代理店が担当。④出稿と評価指標のモニタリングはシステムで行う。

技術と人の組み合わせ

繋交協助（けいこうきょうじょ）



審査委員の前に学生がプレゼン。事業提案を新規性や独自性などから評価



祝賀会で入賞者と関係者が交流

努力賞

北海道鮭節食品開発プロジェクト

天使大学

宮本 万里子
大竹 春香
坂本 星美
佐々木 くるみ



宮本さん
万里子
大竹さん
春香
坂本さん
星美
佐々木さん
くるみ

鮭節を土産物に加工

の食材で生産ができる。鮭節は遊離アミノ酸が他の天然調味料に比べて2倍以上含まれる。食品科生からも鮭節は遊離アミノ酸と昆布の「グルタミン酸」といった核酸の成分が含まれており、うま味を強く感じる。単品で料理としても提供できる。

アンケートで人気だった鮭節クッキーと鮭節せんべいを考案した。販売は観光客向けに道内の空港や土産物屋で展開し、手軽に食べられる加工食品で認知度を高める考え。

小樽商科大学

渡部 真大



渡部さん
真大

高齢者向け代行業務

少子高齢化の問題に向けて、高齢者を対象に大規模な代行業務を提供。依頼人から受けた案件を管理者が学生に情報提供し、学生が承けたら、若者流出を防ぐほか、学生は派遣業に近い形で減にもつなげる。

介護事業者と学生は主に話し相手などで協力。介護事業者は人材不足の改善につながるほか、定期的な交流は孤独死防止にもなる。学生にとっては人生経験的にも勉強の場につながる。システムとしては、ピーターや顧客満足度評価といった制度も用意する。

審査講評

CVG北海道審査委員会委員長

八木 康之

CVGは学生が普段の生活や社会の仕組みなどに対して問題意識を持ち、解決策を考え、ビジネスとして提案するもの。傾向は、技術面ではITを駆使しスマートフォンアプリなどから、新しいビジネスモデルを提案するものが多い。受賞されたベンチャーは、地域性を反映した観光業や食品・飲食業に対するもの、高齢化や過疎化対策の提案などが多くあり、いずれも応募者の

旺盛なベンチャーマインド



審査委員の八木委員長は、審査の際に、各賞に選ばれたベンチャーのアイデアや取り組みに、地域性を反映した観光業や食品・飲食業に対するもの、高齢化や過疎化対策の提案などが多くあり、いずれも応募者の旺盛なベンチャーマインドが、今後社会に出た時にさまざまな課題に問題意識を持ち、その解決策を提案し、それを実行に移していったことを期待します。

第12回CVG北海道審査委員会（敬称略）

- | | | |
|-----|------------------------------|----------------------------|
| 委員長 | 八木 康之（産業技術総合研究所北海道センター所長） | 東川 敏文（北海道科学技術総合振興センター常務理事） |
| 委員 | 赤坂 修司（北海道経済産業局産業部中小企業課参事官） | 堀川 昌章（北海道エア・ウォーター経営企画室長） |
| | 竹縄 維章（北海道経済部地域経済局中小企業課長） | 新谷 光人（北洋銀行地域産業支援部特任審議役） |
| | 片山 直樹（北海道立総合研究機構工業試験場長） | 堀川 代志郎（北海道発明協会専務理事） |
| | 高橋 昭彦（北海道中小企業総合支援センター経営支援部長） | 杉山 央（札幌ビズカフェ代表理事） |

第12回

キャンパスベンチャーグランプリ 北海道を応援しています。

INDETAIL Amino Up Chemical
INDETAIL アミノアップ化学

ACT NOW ACT NOW

ECOMOTTO エコモット

New business from new Styles bizCafe 札幌ビズカフェ

Deloitte デロイトトーマツ

トーマツベンチャーサポート

※順不同

北海道の明日とともに

北洋銀行は
北海道を
サポートします。

Tokyo 首都圏と北海道を結ぶ新しいビジネスネットワーク「法人部東京情報サービス室」

「東京情報サービス室」では首都圏へ事業拡大を図ろうとされるお取引先に、的確な情報をご提供いたします。特に流通・食品関連のビジネスニーズには、よりタイムリーな対応をいたします。是非お近くの本支店や「東京情報サービス室」にご相談ください。

ネットワークを活かした万全のサポート体制「地域産業支援部」

「地域産業支援部」では、産学官や各ベンチャー・ファンドと連携の強化、創業・新事業の支援など新興企業の支援の充実に努めております。是非お近くの本支店や「地域産業支援部」にご相談ください。

【東京情報サービス室、地域産業支援部のお問い合わせ先】
東京情報サービス室 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目2番1号 東京海上日動ビルディング新館6階 電話(03)3284-6471
地域産業支援部 〒060-8661 北海道札幌市中央区大通西3丁目7番地 北洋大通センター9階 電話(011)261-1321

北洋銀行 100th ANNIVERSARY
www.hokuyobank.co.jp